

ヒト由来の配列グレードキモトリプシン、再組換え

Cat. No. NATE-1894

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 キモトリプシンは、E.coliで発現され、HPLCで精製された再組換えセリンエンドペプチダーゼであり、遺伝子配列はヒトキモトリプシンと同じです。再組換えキモトリプシンは、芳香族アミノ酸残基のカルボキシル側で加水分解を行います: チロシン (Tyr)、フェニルアラニン (Phe)、およびトリプトファン (Trp)。ロイシン (Leu) やメチオニン (Met) でも切断が観察されることがありますが、その割合は低くなります。キモトリプシンの活性はpH 7.0-9.0で最適です。配列決定グレードのヒトキモトリプシンは、単独または他のプロテアーゼと組み合わせて使用し、ペプチドマッピングアプリケーションやペプチド質量フィンガープリンティングまたはMS/MSスペクトルマッチングによるタンパク質同定のためのタンパク質消化物を生成することができます。これは、溶液中またはゲル中での消化反応に適しています。

用途 1) ペプチドマッピングアプリケーションやペプチド質量フィンガープリンティングまたはMS/MSスペクトルマッチングによるタンパク質同定のためのタンパク質消化物です。これは、溶液中またはゲル中での消化反応に適しています。2) このシーケンシンググレードの酵素は、単独で使用することも、他のプロテアーゼと組み合わせて使用することもできます。

別名 EC 3.4.21.1; キモトリプシン A および B; アルファ-キマール; アバザイム; キマール; キモテスト; エンゼオン; キマール; キモトレス; アルファ-キマール; アルファ-キモトリプシン A; アルファ-キモトリプシン; キモトリプシン; α -キモトリプシン; シーケンシンググレード再組換えキモトリプシン; シーケンシンググレードキモトリプシン

製品情報

種	人間
由来	E. coli
形態	凍結乾燥された
EC番号	EC 3.4.21.1
CAS登録番号	9004-07-3
分子量	26,950 Da
純度	> HPLCによる98%
活性	>1500 ユニット/mg タンパク質

使用法とパッケージング

調製方法 溶解バッファーは50mM HACで、最終濃度0.5 μ g/ μ lを得るために、一度使用するか、-20°C以下で保存します。消化バッファーは一般的に100mM NH₄HCO₃に5mM CaCl₂を含み、30°Cで目的のタンパク質を溶解させ、その後キモトリプシンを添加します（一般的にW:W=1:20-1:100）。37°Cを超える温度では自己消化が起こる可能性があります。

保管・発送情報

保存方法 リコンビナントキモトリプシンの凍結乾燥品は、密閉容器に入れて2°C-8°Cで保存する必要があります。

アロシマアミラーゼ/アロシマアミラーゼの凍結乾燥剤は、密閉容器に入れて2℃以下で保存する必要があります。24ヶ月間安定しています。溶解後は、-20℃で保存する必要があります。24ヶ月間安定しており、3回の凍結と解凍を繰り返した後も90%以上の活性が残ります。